

【学校教育目標】「感謝の心を持ち、自ら学び、たくましく生きる子供の育成」



学校だより 堂崎つ子

第 20 号

令和 6 年 12 月 9 日

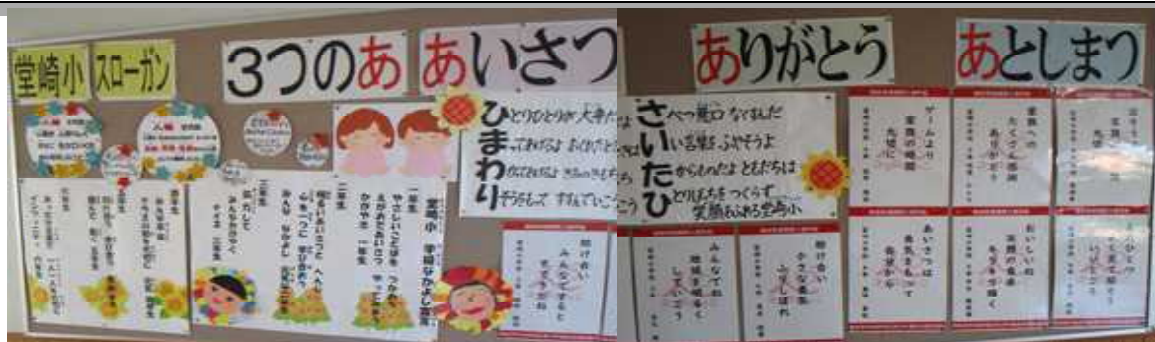
南島原市立堂崎小学校

校 長 末吉 優

師走に入りました

早いもので、12月に入り、2024年も残すところ3週間となりました。12月22日は「冬至」、ご存知のとおり、日出から日の入までの時間が1年で最も短くなります。調べてみたら、日照時間は、約9時間45分とのことでした。（これからしばらくは、日の出時刻が更に遅くなります。）寒さに負けず、早寝・早起き・朝ご飯を欠かさず、元気に登校してほしいと願います。ところで、インフルエンザ患者が、週ごとの統計で倍増しているというニュースを耳にしました。学校では、換気、手洗い・うがいの励行、必要に応じた適切なマスクの着用等を行っています。様々な感染症の心配がありますが、まずは、児童一人一人の健康な体づくりを意識させたいものです。

ひまわり集会（人権集会） 言語環境を考える 12月5日（木）



堂崎小学校の目指す子供像は「やさしい子 考える子 元気な子」です。子供達にいつも心に留めてほしいことに、3つの「あ」（①あいさつ ②ありがとう ③あとしまつ）があります。そして、それらの取り組みの中で「自分から見てどうか、相手から見てどうか」自分だけでなく、相手の気持ちも深く考えることの大切さを伝えています。6月に「心を見つめる教育週間」を実施しましたが、「5つの誓い」（口・耳・目・手足・心の使い方）について話しました。その取り組みは継続して指導しています。

特に感じますのは、言葉の適切な使い方です。

何気なく使っている言葉ですが、相手の心を傷つけているケースを耳にします。様々なメディア（テレビ・通信機器・スマートフォン・雑誌等）や学校・家庭・地域社会の環境の中で生活しているわけですから、乱暴な言葉が溢れています。本来、純粋な子供たちは何も知らないわけですから、見聞きすることで、ついつい使ってしまう。

人権集会では、先日の持久走大会の応援を例に挙げました。「どんな応援を送ったか、どんな応援に勇気づけられたか。」保護者の皆様からの言葉かけに、子供たちも随分勇気づけられたことでしょう。

先月末には、植松電機社長の植松努様が市内の6年生を対象に講演されましたが、私たち大人が適切な関わり方、言葉のかけ方を続け、自己肯定感を高めさせなければならないと話されました。皆さんはどのようにお考えでしょうか？

人権集会では、南島原市の人権擁護委員7名の方が来校され、「心のバケツ」を朗読されました。（言葉・いじめについて考えさせる内容でした。）「いやなこと、辛いことを心のバケツにためていくと、いずれ溢れてしまう。心のバケツの大きさは人によって違う。心が成長する中で、心のバケツは大きくなる。悩み、困ったこと、心配事は相談してほしい。」と話されました。また、学級のなかよし宣言の発表、「堂小ひまわり宣言」の再確認を行いました。



6年生 学びを深めた修学旅行 【11月26日（火）～27日（水）】



< 吉野ヶ里歴史公園 >



<物見やぐら>



<竪穴住居>



<福岡タワーから見た街の様子>



<福岡市博物館>



<マリンワールド：イルカショー、水槽前のクリスマスツリー>



< キッズニア リユースショップ：鑑定



テレビ局



空港警備センター



飛行機：パイロット >

絶好の秋空には程遠かったのですが、佐賀：吉野ヶ里歴史公園、福岡タワー、福岡市博物館、マリンワールド、キッズニア福岡を見学・体験学習の場として修学旅行を行いました。

出発時、堂崎小学校が重点的に取り組んでいる「3つのあ（あいさつ・ありがとうという感謝の気持ち・あとしまつ）」について、社会へ発信・実践するチャンスであることを確認しました。

児童は、「目的をもって考えながら行動し、思い出に残る修学旅行にしよう」というテーマを掲げていました。「友達と仲良く活動し、楽しい思い出を創る」ためにも、よく見て、よく聞いて、よく考えました。

団体行動をととして規則やマナーを守り、責任をもって行動する、グループで協力するなど、大切な社会体験となりました。

福岡市は国際色豊かなまちで、街並みの違いを実感し、観光客、外国出身のホテルスタッフの方々とも出会い、良い体験をすることができました。そして、周りの人への気遣い、周囲の空気を感じるなど、社会性を営むにおいて必要なことを感じ、実践に導いたことと思います。

2日間の修学旅行をととして、新たな自分を発見し、また、今後の学校生活・家庭生活に活かすことができればと思います。



<ファッションショー>

入賞者の紹介 入賞おめでとうございます！（敬称略）

< 令和6年度 第18回南島原市人権標語審査結果 >

【小学校低学年の部】 優秀賞 3年 松尾 「思いやり もらったわたし 次にパス」

< 校内持久走大会 入賞者 >

すべての子供たちが自分の限界に挑戦しました。粘り強く、最後までよく頑張りました。きついことに挑戦し、乗り越えた本人にしか分からない「気持ちよさ、すがすがしさ」を味わったのではないのでしょうか。拍手を送ります。

	男 子			女 子		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位
1年	中川	隈部	小嶺	松永	田中	三又
2年	松尾	松尾	平石	石橋	草野	徳嶋
3年	古江	坂上	白石	中川	隈部	松尾
4年	金子	荒木	松永	松尾	本多	小島
5年	坂上	金子	岡田	松尾	末吉	松尾
6年	伊藤	石川	松永	荒木	中村	金丸